

◆日本ナレッジ・マネジメント学会研究部会発表大会のご案内

会員各位

2018年の掲題大会のプログラム概要が決定いたしましたので、下記によりご案内いたします。

記

1、日時：2018年12月15日（土）

12時30分 開場、受付開始

13時00分 大会開始

17時30分 終了予定

なお、常任理事会出席の方は10時半に亜細亜大学 5号館 526号室にご集合ください。

2、会場：亜細亜大学 〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-24-10

亜細亜大学 5号館 511号室及び526号教室

<http://www.asia-u.ac.jp/information/access/>

詳細なアクセスおよびキャンパス・マップ、バス情報はWEBをご参照ください。

『中央線快速電車武蔵境駅（新宿から20分前後）下車、徒歩12分。または、武蔵境駅

北口発の巡回バス「ムーバス」境西循環および境・東小金井線で約5分、亜細亜大学南門下車』

懇親会会場：アジアプラザ（亜細亜大学キャンパス内）

3、参加費：大会参加は無料、懇親会は有料

懇親会費：同日総会終了後にアジアプラザで懇親会を開催します。奮ってご参加ください。

参加費は当日申し込みは3500円になります。

大会ならびに懇親会への参加お申込みは下記のフォームにてお送りください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/86a8c9dc596395>

4、研究部会発表大会開催概要

第一会場

総合司会：植木英雄氏（筑波学院大学 特別招聘教授、本学会専務理事）

開会挨拶：大会実行委員長 佐脇英志氏（亜細亜大学特任教授、本学会幹事）

特別企画 13:00-14:20 「キャッシュレス社会の到来とナレッジ・マネジメント
— 一周遅れの日本社会を考える —」

① 基調講演：（30分）

「ようやく動きだしたキャッシュレス化・キャッシュレス化で何が起こるのか
— キャッシュレス社会の現状と展望 —」

渡辺 宏一郎氏（LINE Pay 株式会社 事業開発室 戦略チーム）

② パネル討論会：（45分）

「キャッシュレス社会の到来とナレッジ・マネジメント— 一周遅れの日本社会を考える —」

プレゼン： 「ナレッジ・マネジメントとキャッシュレス社会」

山崎秀夫氏（(株) Beat Communication 顧問、本学会副理事長）

パネリスト：渡辺 宏一郎氏、小石 裕介氏（株) Beat Communication（コンサルティング事業部）、
山崎秀夫氏（同上）

ここから、会員発表会を第一会場および第二会場において実施（合計 9 発表予定）

発表 20 分、コメント 5 分、会場との質疑 5 分を目安とします。

第一会場

全体司会 佐脇英志氏（亜細亜大学特任教授、本学会幹事）

1430-1500:発表 1「シニア技術者から中堅層への世代間知識継承の事例研究～少子高齢化に
対応した IT 企業における新たな伝え方の必要性～」

発表者：細野一雄氏（北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 博士後期課程在籍）

コメント及び司会 植木英雄氏（筑波学院大学 特別招聘教授、本学会専務理事）

1505-1535：発表 2「KM 国際標準規格に対する当学会の取り組み」

発表者： 齋藤稔氏（本学会理事）

コメント及び司会 久米克彦氏（本学会理事長、元スズキ監査役）

1540-1610：発表 3「SDG s」

内訳 1「SDG sに関する野中郁次郎先生らからの考え方」

発表者兼司会：高山千弘氏（(株) エーザイ 執行役員、本学会専務理事）

内訳 2「SDG sの背景」

発表者：西原文乃氏（立教大学助教、本学会専務理事）

1615-1645：発表 4「トーク」及び「今後の部会の展望」

トーク参加者：高山千弘氏（同上）、西原文乃氏（同上）

矢澤洋一氏（日経 BP 参与、本学会理事）

司会：高山千弘氏（同上）

1650-1705：発表 5 実践ナレッジ・イノベーション研究部会 報告

1. 1年間の活動の総括：知識創造理論の新展開と他領域との接点

* 現象学、前川製作所の場づくり、戦略論、組織の動態的能力、アクションリサーチ、
経営環境のセンスメーカー、二項動態、プロジェクトマネジメント

2. これまでの部会活動から見てきた知のトレンドと知識創造の未来

* AI・RPA・IOTの普及が知識創造にもたらすもの

* 知の原点回帰

* これからの知識創造の方向性

発表者：西原文乃氏（立教大学助教、本学会専務理事）

河田卓氏（一般社団法人 コミュニティ技術研究所理事長）部会代表世話人

コメント及び司会：伊藤武志氏（大阪大学教授、本学会理事）

第二会場

全体司会 荒木聖史氏（NEC 通信システム、本学会幹事）

1430-1500：発表 1 「暗黙知としての事業経営能力の学習を促す組織」

発表者：伊藤武志氏（大阪大学教授、本学会理事）

コメント及び司会 西原文乃氏（立教大学助教、本学会専務理事）

1505-1535：発表 2 「All-Denka～ソフトイノベーション～成功事例研究：プロダクトアウトから発想と視点を変えたエコシステム&ビジネスモデルへの転換と、ナレッジ・マネジメント」

発表者：田原祐子氏（株式会社ベーシック 代表取締役、本学会理事）

コメント及び司会 安部 博文氏（電通大学特任教授、本学会理事）

1540-1610：発表 3 「ナレッジ・マネジメントから見たプログラミング教育のモデル化とその効用」

発表者：安部博文氏（電気通信大学特任教授、本学会理事）

島崎俊介氏（電気通信大学大学院/実験実習支援センター学術技師）

宮澤修氏（東京工業大学）

コメント及び司会 町井美也子氏（Assemblage LLC. 代表、本学会幹事）

1615-1645：発表 4 「台湾生産性本部会議（2018/9）及びKMGN 報告（2018/11）」

発表者：加藤鴻介氏（KC 総合研究所代表、本学会理事）

コメント及び司会 山崎秀夫氏（(株) ビートコミュニケーション顧問、本学会副理事長）

第一会場

1720-1730：閉会挨拶 久米克彦氏（本学会理事長、元スズキ監査役）

閉会后移動、懇親会は 1800 開始（予定）（於：アジアプラザ）

以上